

活 用 事 例	大分市立大在中学校	望月陽一郎教諭
活用事例タイトル	話し合う（はなしあう）⑤・・・ロイロノートから共有	
対象授業科目/活動	理科・・・校内の先生の新しい取り組みです。	
授業または活動の概要（目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など）	<p>○ロイロノート（表現・思考・判断のための発表アプリ）の「共有機能」のみを使用して発表を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・ワークシートでグループによる話し合いを行った後、ロイロノートの「撮影」機能で画像化する。</li> <li>・・・「トンネル」機能で指導者タブレット経由で各班のタブレットに送り、大型テレビとタブレットを見ながら発表を聴く。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用タブレット・・・iPad</li> <li>・使用アプリ・・・ロイロノート（撮影・トンネル機能）</li> </ul>	
評価、振り返り（活動の評価や児童・生徒の声など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの画像が自分たちのタブレットに飛んできて、見やすかった。</li> <li>・タブレットだと書くのが大変だけど、写真を撮るだけなので簡単だった。</li> </ul> <p>という感想が多くみられました。</p> <p>※タブレットの操作については、TTで入った教員がサポートした。</p>	
ICT活用により期待できる効果 ICT活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットは画面が小さいため、ワークシートの方が書き込み・話し合いをさせやすい。（A3）</li> <li>・トンネル機能で各班の画面に直接送り込めるので、共有がしやすい。</li> </ul>	